19th MACS

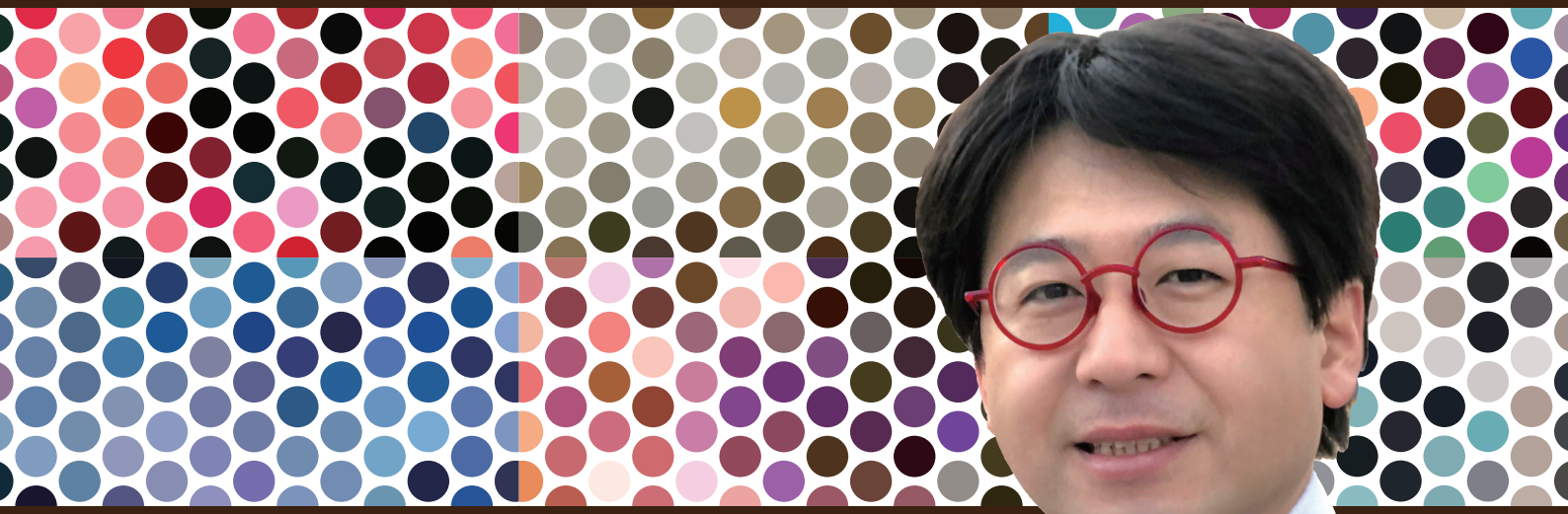
2022 コロキウム

2022 年度 MACS 学生説明会

4月18日（月） 15:00～

開催形式：Zoom オンライン会議

【参加登録】
https://forms.gle/wrC7RjyfRwCikUoP6



15:00～ 第19回 MACS コロキウム

形態形成の多細胞力学シミュレーション

井上 康博 博士 （京都大学大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻）

多細胞生物の器官の形は、その機能発現と深く関わっており、その形の成り立ち（形態形成）には、個々の細胞が生み出す力が重要な働きをしています。近年、形態形成を多細胞の力学をもとに、計算機を用いたシミュレーションで解析できるようになってきました。多細胞力学シミュレーションの概要、現状や課題について紹介します。

16:05～ 2022 年度 MACS 学生説明会

スタディーグループ 2022 の代表教員・参加教員による企画説明（各 5 分、順不同）

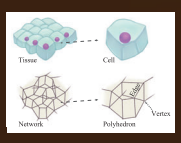
- データ同化の数理と応用：理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス
  代表教員：坂上 貴之 （数学・数理解析専攻）
- XR で見る・3D で触る先端科学
  代表教員：稲生 啓行 （数学・数理解析専攻）
- 生命のダイナミクスを観て（観察）考える（数理）
  代表教員：高橋 淑子 （生物科学専攻）
- 自然科学における統計サンプリングとモデリング：数理から実践まで
  代表教員：林 重彦 （化学専攻）
- 理化学研究所と MACS を繋ぐパイプライン
  代表教員：小林 俊介 （数学・数理解析専攻）
- 「かたちづくり」の数理を発見しよう！
  代表教員：市川 正敏 （物理学・宇宙物理学専攻）
- 疾患における集団的細胞挙動の数理モデルの開拓
  代表教員：Karel Svadlenka （数学・数理解析専攻）
- コンピュータでとことん遊ぶ
  代表教員：藤 定義 （物理学・宇宙物理学専攻）
- バクテリアと数理をつなぐ
  代表教員：佐々 真一 （物理学・宇宙物理学専攻）
- 数学者と学ぶ量子力学
  代表教員：楠岡 誠一郎 （数学・数理解析専攻）
- ソースコードから始まる異分野交流
  代表教員：伊丹 将人 （物理学・宇宙物理学専攻）

17:10～ 各スタディーグループの個別説明（Zoom ブレイクアウトルーム）

※スタディーグループ（SG）参加対象：主に理学部・理学研究科の学生が参加対象です。
それ以外の学生の登録も可能ですが，参加希望者多数の場合は調整の可能性があります。

今年度の SG の情報は以下の HP から得ることができますので参考にしてください。
http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/academics/programs/macs/sg/sg2022/

井上 康博 博士
京都大学大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻



●備考

◎本コロキウム・説明会は理学部・理学研究科の学生・教職員が対象ですが、京都大学の方ならどなたでもご参加いただけます。

◎学内教育プログラムに関するイベントであるため、学外・一般の方の登録は原則不可としております。ご登録いただきましてもリストより削除させていただくことがあります。

◎なお、MACS コロキウムの講演は講師の先生の許諾が得られた場合、後日京都大学 OCW(YouTube) に公開されますので、そちらをご覧いただきますようよろしく御願いします。
http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/academics/programs/macs/archives.html

◎問い合わせ先：macs ＊ sci.kyoto-u.ac.jp（＊を @ に変えてください）

理化学研究所 数理創造プログラム（iTHEMS）協賛
iTHEMS RIKEN interdisciplinary Theoretical & Mathematical Sciences
MACS 教育プログラム
数理を基盤として新分野の自発的創出を促す理学教育プログラム
SCIENCE KYOTO U
macs京大 検索